



密輸防止にご協力を!

シロイ クロイ

密輸ダイヤル



0120-461-961

▼ こんな時にご用心 ▼



渡航先でよく知らない人から中身の分からない荷物を預かったとき。



機内で寒くもないのに厚着をし、汗をかいている旅客や、食事をせずに、落ち着きのない旅客を見かけたとき。



あまり親しくない人に、外国から荷物が届くので、名前と住所を貸してほしいと頼まれたとき。



密輸はほとんどの国で重罪です。 密輸の片棒を担がされないよう、ご用心を！

- 日本で摘発されるけん銃や薬物のほとんどは海外からの密輸品です。
- 国内で摘発された薬物の8割が税関によるものです。
- 更なる水際での取締強化には、皆様の協力が必要です。身の回りで「何かおかしい光景」を目にした時には、**税関・密輸ダイヤル (0120-461-961) にご連絡下さい。**



▲空港での手荷物検査

Case1



海外旅行の帰り、同行者にお土産のチョコレートを持って欲しいと頼まれ、預かったら！

◀預かった土産から覚せい剤が！

Case2



厚着をするのは、体に巻き付けた麻薬の膨らみをごまかすため。

また、中には、ゴムなどで包んだ麻薬を飲み込んで密輸しようとする人もいます。

◀スパッツの下には大量の薬物 (MDMA) が！

Case3



住所だけなら、と軽く承諾したら、麻薬の受取人にされることもあります！

◀国際郵便物の中から大麻が！

